

<p>コミュニケーション障害について No.1041 定員18名</p>	<p>ボディメカニクス講座 4月・No.1042、8月・No.1082 (定員10名) 6月・No.1063 (定員15名) 実技有</p>	<p>誤嚥の予防と対応 4月・No.1043 定員20名 8月・No.1081 定員20名 実技有</p>	<p>応急手当研修 5月・No.1051 実技有 7月・No.1071 定員20名</p>
<p>日時：4/13(金) 13:30～15:30</p>	<p>日時：4/18(水) 18:00～20:00 日時：6/28(木) 15:00～17:00 日時：8/16(木) 15:00～17:00</p>	<p>日時：4/24(火) 18:00～21:00 日時：8/8(水) 18:00～21:00</p>	<p>日時：5/7(月) 18:00～20:30 日時：7/3(火) 11:00～13:30</p>
<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室(4・8月) マイライフ西(6月)</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>
<p><目的> ・言語障害について理解をし、言語障害のある方とのコミュニケーション方法を学ぶ <内容> ・言語障害のある方から実体験を交えた話を伺う「日常でのコミュニケーションの取り方、気をつけていること」「今までの人間関係の中で嬉しかったことと嫌な思いをしたこと」 ・言語障害のある方とのコミュニケーションを実際に経験してみよう！ <講師> 白井孝幸氏 予定</p>	<p><目的> ・介護技術の基礎であるボディメカニクスを学び、安全安楽な介助を利用者の方に提供する。 <内容> ・ボディメカニクス8原則をもとに体位変換や移乗等の実技練習をし、介助時の身体の使い方やコツを学ぶ。 <講師> 当事者 佐藤元紀氏 看護師 山根さつき氏 応急手当普及員 鈴木康夫氏</p>	<p><目的> ・誤嚥のメカニズムを知り、予防方法を覚える。 ・実際に起こってしまった場合の対処方法を学ぶ。 <内容> ・誤嚥に関する講義 ・緊急時の対応・マニュアル説明 ・胸骨圧迫とAEDの使い方(実技) <講師> 当事者 佐藤元紀氏 看護師 山根さつき氏 応急手当普及員 鈴木康夫氏</p>	<p><目的> ・応急手当の重要性を理解すると共に、正しい知識を得て、緊急時に適切な対応ができる技術を身につける。 <内容> ・応急手当の重要性 ・基本的心肺蘇生法(実技) ・AEDの使用法(実技) ・異物除去法・止血法 <講師> 応急手当普及員有資格者</p>
<p>当事者による家事援助講座 No.1052 定員10名 実技有</p>	<p>地域移行・はじめの一步 ～その人らしい生活をもとめ～ No.1053 定員30名</p>	<p>介助における当事者主体とは ～コミュニケーションの大切さと指示の難しさを知る～ No.1054 定員12名 実技有</p>	<p>ヘルパー制度の歴史 No.1061 定員30名</p>
<p>日時：5/16(水) 10:00～13:00</p>	<p>日時：5/18(金) 18:00～20:30</p>	<p>日時：5/24(木) 14:00～16:30</p>	<p>日時：6/4(月) 18:00～20:00</p>
<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>
<p><目的> ・自立支援の基本的考えの基に行う家事援助とは何かを当事者から学ぶ。 <内容> ・座学 掃除と洗濯について 衛生管理(食中毒等) 食材の保存について 電子レンジの利用について 他 ・調理実習 <講師> 当事者1名 予定</p>	<p><目的> ・障害者がどのように生活を送ってきたのか、何故自立を目指すのか。過去から現在に至るまでの歩みと積み残された課題について学び、今後の支援や関わり方にかす。 <内容> ・親の庇護、施設入所における生活環境の問題 ・自立生活体験の必要性 ・地域で暮らす意義 <講師> 森美親氏</p>	<p><目的> ・障害当事者は、介助者が常に近くにいるという生活を送っている。疑似体験を通し何気ない動作も人の手が必要であり、長時間介助者がそばにいる当事者側の気持ちを考えていく。また支援者側の気持ちも事例等を通して共有し長く関わってもらう為のポイント共有していく。 <内容> ・普段何気なく行っている動作を、指示をし、難しさを知り経験する。 <講師> 当事者講師3名予定</p>	<p><目的> ・ヘルパー制度の歴史を学び、障害者と当時の介助者それぞれの活動の思いを聞くことで、介助の役割を考える。 <内容> ・障害当事者運動の制度の変遷 ・当時の介助者からの話 <講師> 伊藤秀樹氏 鈴木康夫氏</p>

<p>車いすの操作及び介助方法を学ぼう No.1062 定員12名 実技有</p>	<p>障害の理解 (脳性まひについて) No.1072 定員50名</p>	<p>信頼関係とは ～ヘルパーの関わりとして～ No.1073 定員20名</p>	<p>介護事故を防ぐための、 腰痛予防ストレッチ No.1074 定員20名 実技有</p>
<p>日時：6/16(土) 13:30～16:00</p>	<p>日時：7/7(土) 15:00～17:00</p>	<p>日時：7/18(水) 16:00～19:00</p>	<p>日時：7/26(木) 18:00～20:00</p>
<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：名古屋聖マタイ教会</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>
<p><目的> ・車いすユーザーにとって、車いすは身体の一部として生活になくてはならない。実際に乗り体験することで、たくさんの気づきと安全な介助方法を学ぶ。 <内容> ・座学(電動、簡易車いすの操作、注意点説明) ・電動車いす操作の実践 ・電動車いすによる外出介助体験 <講師> 当事者3名 他</p>	<p><目的> ・障害の理解を深め、利用者の方に負担の少ない介助方法や特徴を知る。 <内容> ・身体障害を持つ方や当事者の方による講義(自身の障害説明と特徴、気をつけてほしい介助、地域生活への想い等) <講師> 当事者1名 あいちりハビリテーション病院 長屋政博先生 予定</p>	<p><目的> ・介助者としての関わりを通して、良好な人間関係を築くヒントを、当事者の話と活動事例から学び、今後の支援にかす。 <内容> ・当事者からの話 ・介助者からの失敗談 ・当事者より「ヘルパーとしての関わり方」の講義 <講師> 入谷忠宏氏 当事者1名</p>	<p><目的> ・日常生活やヘルパー活動を送っていくうえで、気を付けていながらも、ふとした時に起きてしまう【腰痛】。そのメカニズムや予防するストレッチを学ぶ。 <内容> ・腰痛予防のための基礎的な知識 ・腰痛予防のポイント ・腰痛予防ストレッチ ※動きやすい服装でお越しください※</p>
<p>障害の受容 No.1083 定員20名</p>	<p>口腔ケアの理論と実践 No.1091 定員20名 実技有</p>	<p>介助に必要な周辺知識 No.1092 定員10名 実技有</p>	<p>食生活の大切さ No.1093 定員15名 実技有</p>
<p>日時：8/21(火) 14:00～16:30</p>	<p>日時：9/7(金) 18:00～20:30</p>	<p>日時：9/18(火) 10:00～13:00</p>	<p>日時：9/22(土) 13:00～15:00</p>
<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：相馬ハウス3F 多目的室</p>	<p>場所：マイライフ西</p>
<p><目的> ・当事者がどのように障害を受容し向き合ったのか。障害と共に生きていくと決断するまでの複雑な心情を聞き、介助者としてどのように受け止め、支援に繋げることができるかを考える。 <内容> ・当事者による生い立ちから現在に至るまでの話 ・当事者が思う「障害受容」とは ・障害を受け入れるまでの過程 <講師> 佐藤元紀氏</p>	<p><目的> ・口腔内を清潔に保つこと。それは生活の質の向上であり、また疾病予防にもつながり、口腔ケアの意義とその手法を学ぶ。 <内容> ・口腔ケアの基礎講座 ・障害当事者を交えての実技 <講師> 吉川清香氏(歯科衛生士) 当事者2名</p>	<p><目的> ・介助技術(ソフト)だけではなく、周辺知識(ハード)を学ぶことにより、緊急時の対応や事故につながる要素を回避する。 <内容> ・車いすの基礎知識と簡易修理</p>	<p><目的> ・健康的な食生活を意識し、日々の暮らしが快適になるよう、食生活全般に関する基礎知識を学ぶ。 <内容> ・栄養と健康について ・衛生管理など ・調理ビギナーに向けての実技 ・包丁の使い方・・・等</p>

重度訪問講座 No. 3041 ~ No. 3091 (月毎でNo.が異なる為『年間計画表』参照)	重度身体障害者の地域生活等に 関する講義 (AJUが目指す地域支援とは)	医療的ケアを必要とする重度訪問介護の 支援に関する講義 (障害の理解)	コミュニケーションの技術に関する講義 (介助の実際)
日時: 月1~2回(土) ※5月は土日開催予定 10:00~17:00のうち2時間1コマ以上	2時間	2時間	2時間
場所 : AJU自立の家 相馬ハウス 等 ・日程は現在未定の為、決まり次第ご連絡を差し 上げます。 ・1コマが2時間以上の講座より選択して下さい。 ・重度訪問講座の日程は、ホームページ でもご確認いただけます。 http://www.aju-cil.com/ ホーム→マイライフ→お知らせ →重度訪問介護従業者養成研修 ※『 <u>重度訪問介護従業者資格</u> 』取得者は <u>研修不可</u>	<目的> ・障害者の自立とは何かを理解し、どんなに障害 が重くても、地域で当たり前暮らす支援とは何 かを学ぶ。	<目的> ・医療的ケアを必要とする重度の障害者の心理 について学び、共感的理解とQOLの向上を目 指す支援とは何かを学ぶ機会とする。	<目的> ・介助時における、利用者が求めるコミュニケー ション方法を学ぶ。 <内容> ・指示の内容を正確に理解する (指示待ちと確認) ・お互いの距離感について ・コミュニケーション不足によって起こる問題 ・信頼関係について
基礎的な介護技術に関する講義 緊急時の対応・危険防止に関する講義 基礎的介護技術コミュニケーション技術	医療的ケアを必要とする 重度訪問介護 利用者の障害 (在宅看護の基礎知識)		
4時間半	2時間		
<目的> ・介助に入る上で、必要な介護技術と知識を学 ぶ。 <内容> ・介助をする上で、安全・安楽なボディメカニクス を習得する。 ・障害の特色を知っていただいた上で、事例を学 ぶ。 ※ <u>昼食持参</u> ※ <u>動きやすい服装</u>	<目的> ・介護サービスを安全に提供する上で、看護的 ケアの知識を習得する。 <内容> ・身体観察のポイント ・バイタルサイン ・緊急時の対応 ・感染症について ・誤嚥について		